

資料3

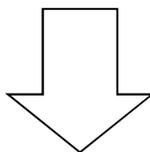
第2回 みのわ未来委員会資料

共通課題の方向性

共通課題の前提

○箕輪町は1980年からの30年で県内屈指の人口増加を果たした。
これは箕輪町が他市町村からの転入超過の結果。

転入超過＝選ばれし町＝「暮らしやすい町」



10年後に人口減少となっても「暮らしやすい町」
を維持したい。

現在の暮らしやすさ(例)

項目	指標等	箕輪町	他市町村との比較		
			辰野町	南箕輪村	下諏訪町
広々とした自然環境	可住地面積	31.26km ²	25.48km ²	17.54km ²	8.40km ²
	農用地の広がり	最長約7.0km	-		
		田、畑、牧草地等			
	眺望を生む標高差	約150m	-		
安心・安全のまち	セーフコミュニティ	H24 認証取得	認証なし		
協働のまち	地区単位の協働事業の実施	67件(H26)	-		
救急医療、高度医療の体制整備	伊那中央病院の充実	町内医療機関と役割分担	-		
支えあう地域福祉社会	災害時支えあいマップの作成区	15区(全区)	-		
子育てに適したまち	保育園の待機児童数	0人	0人	0人	0人
	ひと味違うみのわの子ども育成	-	-		
働く場のあるまち	製造品出荷額	133,061百万円	73,877百万円	82,148百万円	34,376百万円
	昼夜間人口比率	100.0%	93.7%	94.2%	94.6%
住みよい都市基盤	町内の移動時間	車で15分以内	-		
	下水道普及率	99.3%	99.3%	99.8%	99.9%
若者が住むまち	64歳未満人口割合	76.4%	69.8%	79.9%	68.0%

部会の設置と設立趣旨

- これまでの暮らしやすさについて現状確認のうえ、次期計画に反映。
- 時期計画策定にあたり以下のとおり部会を設置

部会名	趣 旨
協働のまちづくり部会	箕輪町で地域コミュニティは暮らしやすさの保証 人口減少高齢化が進んでも安心で安全なコミュニティの維持
健やかに心豊かに暮らせるまち部会	高齢化が進展しても、暮らしやすい町の構築
ファミリー応援部会	出生数が減少する状況だが、子育てしやすい町の構築
産業の未来を考える部会	暮らしやすい町のため働く場の確保
住みよい都市基盤整備部会	生活の便利さを確保する道路等の都市基盤整備
明日を担う地域人材育成部会	町の未来を託す人材の育成

人口増減に伴う課題と担当部会(案)

項目	課題等	担当部会
総人口の減少	行政等のサービスの維持	協働のまちづくり部会 住みよい都市基盤整備部会
	コミュニティ活動の維持	
	安心・安全の町の確保	
	ごみ処理量の変化	
	上下水道の需要量	
	道路等、生活基盤の維持・整備 景観等、自然環境の維持	
15歳未満人口の減少	結婚・出産等の促進	ファミリー応援部会 明日を担う地域人材育成部会
	産科医療の確保	
	育児支援等の見直し	
	保育園・学校施設のあり方 学校教育・社会教育のあり方	
15～29歳人口の減少	若者にとっての魅力づくり	産業の未来を考える部会
15～44歳人口の減少	労働人口の確保	
45～59歳人口の増加	農業、工業等の産業振興	
60～69歳人口の減少	常会等地区活動の存続	協働のまちづくり部会
	農地や山林の維持	産業の未来を考える部会
	健康づくりの需要増大	健やかに心豊かに暮らせるまち部会
高齢者の交通手段の確保		
70歳以上人口の増大	医療体制の確保 高齢者福祉の需要増大	

今後の作業イメージ

【各部会で作業】

- ① 現状の把握(データ等による数値化)
- ② 課題の抽出
- ③ 数値目標の設定

【本会で作業】

部会の作業を踏まえて計画等検討

【施策へ反映】

施策の検討や予算編成